



■海外インターンシップ

平成27年度は、機械制御システム工学科3年生1名、環境科学科3年生1名が、新潟県上越市の「ウエカツ工業株式会社」および同社の海外法人である「ウエカツ工業マレーシア株式会社」で海外インターンシップを行いました。2日間の国内実習の後、平成28年2月15日から3月2日までマレーシアで海外実習に取り組みました。

ウエカツ工業マレーシアは、従業員数約250名で、磁気ディスクドライブ（HDD）に使用されるアルミニウム製基板を生産しています。

実習内容

座学

加工方法、仕組みなどの概要を学びます。



実習

実際に作業をしながら、詳細な操作や注意点を学びます。



製造工程



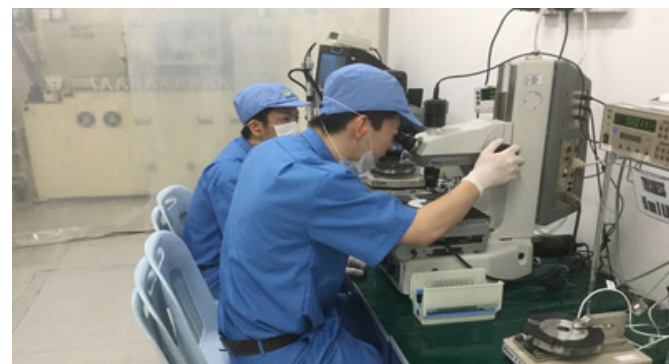
アニール工程（熱処理による内部応力の解放）



表面研磨



目視による外観不良チェック



規格検査

海外インターンシップで学生が得たこと

ねらい	参加前の意識	参加して学んだこと・気付いたこと
◆チャレンジ精神を身につける。	○失敗を恐れずにチャンスをつかめるようになりたい。	●自分で体験しなければ分からないことばかりだった。 ●何とかするという自信がついた。
◆異国の文化に触れて自分の視点を増やす。	○当たり前を当たり前だと思わないようにする。	●海外への興味が湧き、就職活動の幅が広がった。 ●日本にはない文化を知ることができた。
◆海外勤務の雰囲気を知る。	○社会に出る前に海外を経験しておく。	●言葉の壁。 ●仕事上のやりとりで、英語の重要性を痛感した。

受け入れ企業のコメント

海外インターンシップの受け入れは、弊社にとっても初めてのことであり、当初は、不安の方が先行しておりました。想定通りに進まないことも多々あり、都度、手さぐりで対応していましたが、参加された学生さんをはじめ、関係する皆さんのご協力もあって、大過なく所定のスケジュールを終了することができたのではないかと思います。学生さんの仕事に取り組む姿、また何事も吸収しようという姿勢は、我々の方が、勉強させられるばかりでなく、普段の営業活動だけでは味わうことのできない、刺激にもなりました。これからも、このような取り組みに参加できることを願います。（ウエカツ工業株式会社）



●平成28年3月10日に新潟県長岡市の「アオーレ長岡」市民交流ホールで開催された「インターンシップフォーラム」（文部科学省産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業・新潟工科大学共催）で発表しました。



●平成28年 9月 3日に本学で開催した教員保護者交流会で、在学生の保護者の皆様に報告しました。

今年度も、海外インターンシップを実施します。平成28年10月の説明会、11月の書類選考・面接を経て派遣学生を決定し、平成29年2月から3月にかけて国内実習・海外実習を行います。

◆そして一言（今田 剛 教授／就業力育成事業部会員）



単位認定を伴うインターンシップを実施している大学の割合は71%ですが、海外インターンシップに限ると21%に減少します。この割合の関係と似た統計の数字があります。自動車の運転免許は75%の人が保有していますが、海外渡航に必要なパスポートの保有率は23%と低くなります。運転免許は普段使いの必須アイテムで、パスポートは特別なときだけに使うものでしょうか。パスポートの不保有を理由に海外インターンシップをためらう学生もいます。運転免許と同じようにパスポートを持つことが当たり前になり、国内や海外を区分しないユニバーサルなインターンシップがスタンダードになることを期待したいと思います。

新潟工科大学 就業力育成事業部会（事務局：キャリア・産学交流推進課）
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 TEL:0257-22-8110 FAX:0257-22-8123

e-Mail: career-sangaku@adm.niit.ac.jp

職業人育成事業HP: http://www.niit.ac.jp/SHUGYO/

大学教育再生加速プログラムHP: http://www.niit.ac.jp/ap_business/ : バックナンバーはこちらのHPからダウンロード可能です